

2005年(平成17年)5月1日(日曜日)

「下総玩具」創始者の遺作

柏で9日まで 人形や張り子など1000点

郷土玩具「下総玩具」創始者で、昨年11月に老衰のため101歳で亡くなった柏市の松本節太郎さんの遺作展が、柏駅西口の柏高島屋地下2階ローズスクエアで始まった。生前、松本さんと交流が深かった同市旭町、画廊経営鈴木昇さん(56)が、個展を開くことが少なかった松本さんの作品を大勢の人に鑑賞してもらおうと開いた。9日まで。

や、和紙を重ね張りして成形した、張り子やお面など多彩な玩具作りに取り組んだ。人形の顔は、筆で一つ一つ違った表情に描かれており、素朴な味わいで全国に愛好者が多いという。

同展には、初期作品から亡くなる直前に製作されたものまで約1000点を展示。展示即売も行っている。

鈴木さんは「初期の作品は表情がきまじめ。逆に、晩年は遊び心たっぷりに描かれている。その違いを比較しながら鑑賞してもらいたい」と話している。入場無料。

松本さんは東京・下谷の生まれ。戦災のため、1945年、柏市根戸に移住後、自宅裏山で取れる粘土を材料に「手びねり」と呼ばれる技法で作った土人形

(第三種郵便物認可)